
想い

秋桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

想い

【Nコード】

N8955Z

【作者名】

秋桜

【あらすじ】

高校に入学し、小・中ずっと同じだった翔に秘かに想いを寄せる瞬だが…

第1話

桜が咲き誇る4月、僕は義務教育を終え、この綾瀬川高校に入学することになった。

僕の身体より大きな制服にピカピカのスクールバッグ、新しい靴。僕は内心とってもわくわくでドキドキだった。

いつもと違う通学路…。

正直迷いそうだった。

「しゅ〜ん!!」

聞き慣れた声が入る。

小・中ずつと同じだった菊川きくかわ 翔かけるだ。

僕にとって彼は、実の兄の様な存在だった。

「あ、翔おはよ。」

「はあはあ、瞬おはよう」

申し遅れていたが、僕は立川たてかわ 瞬しゅん。

「ねえ翔？僕たち一緒のクラスになれるといいね。」

「ああ。きつとなれるさ!!」

こんなたわいもない会話をしていたらあっという間に学校に着いてしまった。

「翔！クラス表貼つてあるよ。」紙の上に目を泳がせた。

(…えーと…… あった!)

僕と翔の名前は、同じクラスにあった。

「今年も一緒だな!!」

翔は、ニツと歯を見せるようにはにかみ、僕の髪の毛をクシャッと鷲掴んだ。

「ちよっ、翔！くしゃくしゃにしないでよぉ〜！！」
僕は嬉しかった。
だって、大好きな翔とまた同じクラスになれたんだから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8955z/>

想い

2011年12月28日03時47分発行